

教 科	数学科	学 年	2年	時間数	5 / 週
使用教科書	・ 中学数学 2 (教育出版)				
<p>副 教 材</p> <p>A WinPass 中学数学 2 (文理) B 基礎から発展へ 数学 2 年 (正進社)</p> <p>㊟AおよびBは課題を中心に活用する。</p>					
学習の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 文字を用いた式と 2 元 1 次方程式、平面図形と数学的な推論、1 次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 ・ 文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、数量関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読みとり批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。 ・ 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。 					

評価基準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けることができた。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けることができた。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付けることができた。
評価の仕方	定期試験、提出物などによる平常点をもとに総合的に評価する。	

教科書	單 元	各月における進度予定											
		1 学期				2 学期					3 学期		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1章 式の計算	1 式の計算	●											
	2 式の活用	●	●										
第2章 連立方程式	1 連立方程式とその解き方		●	●									
	2 連立方程式の活用			●									
第3章 1次関数	1 1次関数			●	●								
	2 1次関数と方程式				●	●							
	3 1次関数の活用					●	●						
第4章 平行と合同	1 平行線と角						●	●					
	2 合同と証明							●					
第5章 三角形と四角形	1 三角形							●	●				
	2 四角形								●	●			
	3 三角形と四角形の活用									●	●		
第6章 確率	1 確率										●	●	
第7章 データの分析	1 データの散らばり											●	●
	2 データの活用												●
1年間のまとめ													●

その他特記事項

○習熟度別の少人数指導は、週2時間を利用し問題演習を中心に行う。